

✿ 復興事業に伴う発掘調査に対する 奈良文化財研究所の取り組み

現在、東北地方太平洋沖地震の被災各地では、復興事業に伴う多数の発掘調査がおこなわれ、全国の地方公共団体から派遣された多くの埋蔵文化財専門職員の方々がその支援にあたっています。その発掘調査は、復興事業の遅れ等が生じない様、迅速化と効率化を旨としておこなわれています。

奈良文化財研究所としてもこれまで培った様々な発掘調査関連技術により支援をおこなうべく準備を進め、派遣要請が出された場合、その内容に応じて即座に職員を派遣する体制を整えています。すでにいくつかの地方公共団体には職員を派遣し、福島県広野町桜田Ⅳ遺跡や宮城県気仙沼市波怒棄館遺跡の発掘調査等に対して、地中レーダー探査技術、3Dレーザー測量・写真測量技術(埋蔵文化財センター遺跡調査技術研究室)、デジタル一眼レフカメラを使用した高所リモート撮影技術(企画調整部写真室)による発掘調査支援や、貝塚出土の動物遺体の分析(埋蔵文化財センター環境考古学研究室)、比較的短期間の発掘調査員の派遣(都城発掘調査部)等をおこないました。

奈文研による支援事業はまだ端緒についたばかりですが、被災地が落ち着きを取り戻すその日まで、できる限りの支援を全所的な対応として継続する予定です。(都城発掘調査部 渡辺 丈彦)



高所リモート撮影技術により撮影した桜田Ⅳ遺跡